第1回広域まちづくり研究会レポート

市町村合併に向けた機運の盛り上げを!

第1回広域まちづくり研究会基調講演❶

松本雄吉氏　広島県地域振興部市町村分権推進局 広域行政推進課　主任企画員

広島県の取り組み

時代は地方分権の流れになっています。昨年の11月8日に合併の基本的な組み合わせを盛り込んだ「市町村合併推進要綱」を県がつくりました。平成12年度中に合併の議論をはじめて頂き、そのための調査研究機関を立ち上げていただきたいと考えています。そして平成13年度中には合併についての基本的な方向性を出して下さいとお願いしています。

市町村合併とは

「今のままの財政状況で市町村はこれからも大丈夫なの?」という財政面についての不安、また「市町村が合併すると私たちの暮らしは良くなるの?」という行政サービス面についての不安など様々な意見があります。財政面について言えば、効率のよい人員配置によるスリム化などにより経費的費用の削減が図れます。また、合併するにあたりいろいろな財政的支援が受けられます。その期限が平成17年の3月までとなっております。平成17年の3月までに合併をしないと財政的な支援を受けられないということになります。そして、行政サービスについて言えば、今よりもさらに受けるサービスの向上が図られます。例えば「役場が遠くなってしまうのではないか?」といった問題に関して言えば、1市3町が合併すれば三原市だけに役場をおくのではなく、今ある役場は支所として存続させるといった方法などもあります。全くなくなって不便になるということはないと思います。エリアが大きくなって住民の声が届きにくくなり、サービスのきめ細やかさが失われていくのではということも考えられます。しかし、住民の皆さんの声を直接聴いて、きちんと反映させるような仕組みをもっと増やしていくことによってきめ細やかなサービスを提供できると思います。

市町村合併というものはあくまでも住民が主役となり自立的な判断でできていくものです。いろんな協議を早急にして頂いて機運を盛り上げていってもらいたいというのが我々の気持ちです。

住民主導による合併の必要性!

第1回広域まちづくり研究会基調講演❷

甲山員司氏　国際政治学博士、広島経済同友会三原支部　支部長

歴史的認識

20世紀の日本の歴史を振り返ってみると、前半は国家主義の時代であり、後半は、経済万能主義の時代でした。そして、21世紀は、「個人の幸せを得るためにどのように地域と国と、そして世界とのかかわりをもつか」という時代になってきています。自分たちの未来をお役所にすべて任せてしまうのではなく、自分たちも参加しなければならないという認識が大切になってきます。

具体的内容

まず、住民の意見が反映される広域合併でなくてはなりません。そして、各市町のエゴイズム・議員のエゴイズムで決定されては絶対にいけません。住民全体の利益が最優先に考えられなければ歴史的に禍根を残すことになります。今回の合併というまちづくり事業を通じて、行政と住民が協力し合える真の住民自治、地方自治を確立しなければなりません。そのために、今回の事業のプロセスを完全公開にして進めることが望ましいと思います。

広域合併の意義

今回の広域合併は、政府の財政ひっ迫と地方自治の必要性という要因が根底にあります。広域合併を行うならば、各市町が共通の夢を持つことが必要であります。私は、この地域を「高度な福祉を持つ地域」にすることがよいのではないかと思います。

なぜかと言えば、この地域には広島県立保健福祉大学があり、広島空港があり、風光明媚な風土があります。このような諸条件を有効に活用し、福祉を単なる老人福祉にのみ考えるのではなく、福祉全般の機能をネットワーク化した地域づくりを考えてはどうでしょうか。また、福祉を単に費用のかかるサービス事業と考えるのではなく、福祉に関連した企業の創造は、今後、必ず到来する高齢化社会に合致したものであり、未来あるまちづくりとなります。

誰もが必要と思われるまちづくりを遂行すれば、自然と人が集まり活性化した地域となるのではないでしょうか。そのためには行政、大学、住民がともに知恵を出し合い汗を流してはじめて居心地のいい「まち」が出来ると思います。

今回の研究会の中で、86名の参加者が9つのグループに分かれ、合併問題を含めたまちの将来について自由に意見を出しあいました。

参加者全員、自分のまちについての意見を持ち、熱く語っていたところが大変印象的でした。

これまで、まちの将来について語り合うというこのようなきっかけがなかったこと、そして何よりも自分たちの住むまちを愛し、子どもたちのために明るい未来を目指そうとしていることが、参加者の意欲をかき立てているように思えます。

今後はより具体的な意見交換を行いながら、まちの将来のイメージを作り出せればと考えています。

わしらのまちはわしらも考えにゃ!

テーブルディスカッションレポート

この会により多くの住民が参加して、**私たちのまちをつくろうという人が増えて**ゆけばよいと思います。

人間が勝手に境界を作っているように思います。もっと、大局的な観点から、**20年・30年、もっと先を見据えた議論を展開して**ゆき将来のまちのありかた(合併)を考えてゆくべきではないでしょうか。

参加前は合併に対して、「大きくなれば行政サービスが悪くなる」といった印象から合併には否定的な気持ちでいました。この会に参加してみて少し考え方が変わってきました。**いろんな方の話を聞いてみることも必要だと実感**しました。もっと多くの人に参加してほしいですね。

特例法があるうちに合併したほうが良いと思います。合併は住民にとってのメリットは役所のリストラによる機能の強化があるのではと思います。

広域化による**議員数の減少**により、本当によい人材、まちの将来を安心して託せる人を選ぶ機会になるのではと考えています。まちにとって非常にいいことだと思います。

合併に関する情報は**住民に広く公開**しながら進めていく必要があると思います。**そうでなければ必ず反発が起こり**流れを変えてしまうことになるのではないでしょうか。

合併に対して住民がどう思っているのか、合併で生活が変わるのか?　といったことを住民がどう感じているか今日のような会で**生の声を聞きたい**ですね。

最近、日本がガタガタになってしまったように感じます。しかも、皆がそのことをどうしようもないと諦めてしまっているようなので、なぜそうなったのか自分の目で確かめるために、このような場に参加しています。合併問題等を通して**すばらしい日本をよみがえらせてほしい**です。

広域合併は必要だと思います。合併後の問題点等は、いろんな話し合いの中で解決できると思います。問題点に関しての十分な話し合いが必要ではないでしょうか。

合併は最終的には行政と議会が推進するものなので、首長、議員は自分の施策を**明確に発言する責任**があると思います。

合併は**国の押しつけ**ではないでしょうか。それにのって合併ありきでよいのでしょうか。

合併か否かはまだ決めかねているが、合併に伴うメリット・デメリットを十分に議論した後でなければ住民は判断できません。だから、この会でその研究をしていってほしいです。そして、住民にその**情報を発信**してほしいです。

議員や行政職員とともにまちの将来を考えてゆけないものでしょうか。**お互いに何を考えているのかわからない**という状況です。

住民と行政との**温度差**を非常に感じます。議員・職員のリストラなど言いにくいことがたくさんあると思いますが、本音の話をしてみたいです。

「広域まちづくり研究会」スケジュール予定表

第1回	2月23日(金)	住民主導の合併の必要性、県職員講演(合併推進要綱発表後の県内の動き・県の対応)
第2回	3月22日(木)	座長の選出、合併による問題点・課題の整理→対応策、1市3町の問題点・課題の整理
第3回	4月24日(火)	本郷町訪問(本郷町から見る合併することのメリット・デメリット整理)
第4回	5月24日(木)	久井町訪問(久井町から見る合併することのメリット・デメリット整理)
第5回	6月25日(月)	瀬戸田町訪問(瀬戸田町から見る合併することのメリット・デメリット整理)
第6回	7月24日(火)	県職員(外部)講演、合併シミュレーション作成開始
第7回	8月24日(金)	合併シミュレーション作成
第8回	9月25日(火)	合併シミュレーション発表、シナリオ(2005年3月合併特例法期限までの合併を目指した)作成

未来クルレポート

2001 リサイクルで未来クル懇談会活動開始!

本年度第1回リサイクルで未来クル懇談会が2月17日開催されました。昨年、懇談会で行なったエコショップ(食料品小売店においてゴミの発生抑制、リサイクルの推進に積極的に取り組んでいるお店)の認定に続き、今年度は、エコショップを市民の皆様に広く知っていただけるような取り組みを考えてゆく事を確認しました。また、親子で環境問題に親しめるイベントを行ってはなど活発な意見交換を行いました。

エコショップレポート

エコショップ認定店探訪Part1

ジャスコ三原店　国重智子副店長にインタビュー!

──昨年11月にエコショップに認定されましたがその感想は?

エコ活動はジャスコとしてはすでに活動していましたが、今回このような認定をしていただいてありがたく感じています

──今後エコショップ認定に希望があれば一言

今後も継続していただきたいと考えています。

ジャスコとしてもお手伝いできることは、是非させて頂きたいと考えています。

──ジャスコとしての環境についての取り組みは?

ジャスコの方針として売上の利益の1パーセントを社会貢献活動に使っています。

買い物用袋を減らす(ごみを減らす手段として)買い物袋持参(マイバスケット運動)をしています。

マイバスケット・マイバッグは店頭で販売しています。(累計で800個・月平均50個出ています)

買い物袋を持参していただくとポイント制になっていて20ポイント貯まると資源再利用のごみ袋等商品と交換しています。(月に3、40名おられます。)

牛乳パック回収による収益で車椅子等を寄付しています。

エコショップ認定店とは
リサイクルで未来クル懇談会で認定した、地球にやさしいお店です

つぼみ
㈲チルダ
くし焼き狄
㈱天満屋三原店
㈲東亜不動産
㈲ときわ薬局
とりごえ食品㈱
中川広告(中川の義さん)
㈱中原洋服店
中村電工㈱
なんばレディースクリニック
㈱日本旅行三原支店
㈱博善社
㈱原アルミ建材
半さん
翡翠
桧山幸三税理士事務所
スタンドひらた
広島電気工事㈱
㈱富久屋
㈲藤井鋼産
富士金属工業㈱
㈱富士鉄工所
㈱古川製作所
㈱ベルファニー江南店
㈲本田石材工業
㈱まじま製麺
松井商事㈲
松尾社会保険労務士
㈱松田鐵店
ジュエリーサロンまつば
㈲マミー化粧品店
おしゃれサロンマルゼン
㈱ミツキー堂
㈲みどり書店
ミナミゴルフ㈲
三原カンツリークラブ
三原郷心会
三原グランドパレス
㈱三原シティホテル
㈱三原スーパー
㈲三原ターミナルホテル
三原塗装㈱
三原マツダ販売㈱
三宅石材店
むねひろ歯科クリニック
㈱森川観光グループ
保道建設㈱
㈱やっさ石油
ヤマサ建設㈱
医 山田脳神経外科
マイエッグヤマナ
山本衣料㈱
㈲山本住設
㈱よしいけ
㈲吉岡建具製作所
由水酒販㈱
㈱読宣備後三原営業所
ラウンジ華
ラ・マンチャ
下町の居酒屋六文銭
渡辺土地建物㈲
買・売・質わたべ

伊達学園月見幼稚園
㈲鶴田電設コンサルタント
天婦羅割烹もみじ
㈲土居写場
㈲童夢
ドコモショップ三原駅前店
㈱鳥徳
㈲中川醸造店
中間書店
㈱ナンバ洋服店
日本建設㈱
皆実町㈲灰谷鉄工所
㈲花岡商会
㈲ハリカ三原店
ビジネス旅館松野
ビストロSOBO
平木鶏卵
平田歯科医院
ファミリー歯科診療所
藤井建設㈱
フジ・エンタープライズ㈲
フジグラン三原
フラワーショップふじもと
ベスト電器三原店FC白須電機㈱
本郷パーキング
正広建材工業㈱
益谷建設㈱
㈲松浦生花店
㈲松田商事
㈲松野商店
㈱マネージメント・ブレインズ
スナックマリア
丸仁建設㈱
三和㈱
みどり幼稚園
皆実みどり幼稚園
㈱三原給食センター
三原金融協会
㈱三原国際ホテル
三原重量㈲
㈲三原スバル販売
エム・キャット三原テレビ
㈱三原美装社
ホンダプリモ三原皆実
三好印刷㈱
盛影塗装㈱
㈱もりみよう
ヤスミチ美容室
三原の味です名物です　献上銘菓　ヤッサ饅頭　ヤッサ饅頭本舗
スナック優香
㈲吉井ビジュアート
寝・生活館よしなが
夜船司法書士事務所
ラウンジOB
ブライダルサロン㈱ラ・ベルフィーユ
理研設計㈱
和食処登喜将
㈲渡辺商会

本誌"やっさもっさ"は、㈳三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

●ISグループ
㈱赤石硝子建材
浅田公認会計士事務所
あまの歯科・矯正歯科クリニック
㈲池本興業
糸崎木材㈱
㈲上田製版印刷所
上田正樹公認会計士事務所
㈱ウツミ
㈱ウラベゴルフ
㈲ゑびす家
桜南食品㈱
大東印刷㈱
やき肉鳳
㈲お茶の平野園
岡本電機㈱三原営業所
ピアノラウンジ帯
㈲笠下工務店
㈲カーズK&N
㈲勝村商店
㈱レストランかねしょう
㈱カネツナ
㈲カメラのファースト
㈱ガルバ興業
関西薬品㈱
完山商店
スナックギフト
キリンビール共栄商事㈲
共和不動産㈱
グラフィック機材㈱
芸備燃料市内4S・S
医 仁康会小泉病院
晃栄不動産㈲
医 里仁会興生総合病院
㈱コグマヤ
㈱コックス
㈱ココパマツ
あなたの町の幸崎郵便局
作田洋紙㈱
㈲さこだモータース
㈱サツキ工業
㈱澤井製作所
三陽環境管理㈱
山陽建設㈱
㈱システムイン国際
柴田産婦人科
島本建設㈱
ジャスコ三原ショッピングセンター
㈱住創
㈱正田文華堂
新宅建設㈱
スカイテック㈲
砂田歯科医院
㈱セイム
瀬戸内不動産㈲
ソナリア&ベッド館
㈱大建組
㈲大日ヘルスショップ
ダイヤ石油㈱三原給油所
㈲高山ペットショップ
㈱田中組
㈱タニグチ
Snack&Bar CHIKIYAN
㈱中国新聞サービスセンター

アイフルホーム三原店
Ⓐ赤谷木材㈱
朝日生命
居酒屋あやか
スナック石垣
セブンイレブン三原駅前店
上田鉄工㈱
㈱上野建材センター
宇野税理士事務所
㈱エヌワイティグループ
㈲エール
大下建設㈱
旭菊水大藤酒造㈱
大成土地家屋調査士事務所
㈱オギロパン
小野税理士事務所
カー・サザン
㈱柏村印刷
勝原不動産㈱
勝村木材㈱
カネダ漢方薬品㈱
㈲上田商店
かもめしんきん
関西通商㈱
神本ワークビュー
㈲キダニ衣料
キャメル
㈱共立電機産業
㈱キヨーデン
啓誠塾
藝陽日日新聞社
広愛産業㈱
河城石材店
合同印刷機材㈱
小島洋紙㈱
小原製パン㈱
㈴小松家具店
㈲崎本不動産
㈲迫田工務店
佐竹工業㈱
㈱サービスセンター
三基工業㈱
中国新聞広告代理店三洋企画
山陽製粉㈱
スナックシティワン
柴原電機㈱
スナックジャイロ
シャトーラフォンロシエ
裟羅
順勝寺
如水館中学高等学校
㈲真和
㈱鈴木
㈱スミダ
誠和工業㈱
妹尾鉄工所
第一歯科医院
大同建設㈱
ダイフク興産㈱
㈲田尾石油店
田中運輸㈱
田辺製麩工場
㈲多森薬局
㈲中央地所
中国電設工業㈱